

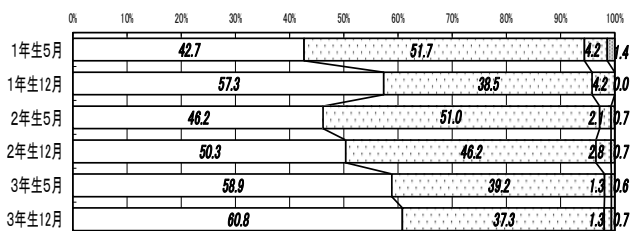
明日を拓く

学校報
 令和3年 1月29日
 No.40
 美郷町立美郷中学校

■気づき、考え、行動している生徒◎95%以上◎

※グラフは左から ①当てはまる ②どちらかと言えば当てはまる ③どちらかと言えば当てはまらない ④当てはまらない

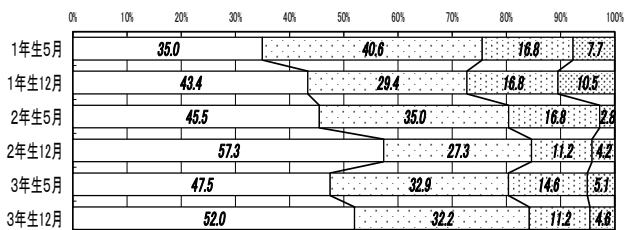
1 「気づき、考え、行動する」を意識して学校生活を送っている



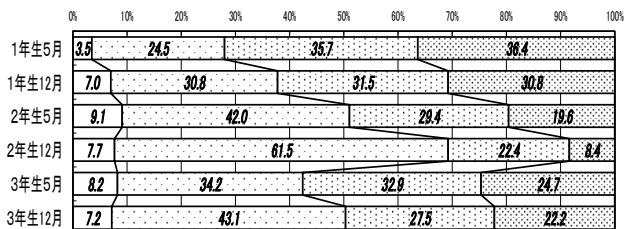
ほとんどの生徒が、今年度の本校の目指す生徒像を意識しているという結果になりました。しかも、5月時点よりも「①当てはまる」が全学年で増加しています。ありがたいことです。

一人一人が気づき、考え、行動することで、日常の様々なことの改善が進んでいます。中でも、生徒会が「いじめゼロ六箇条」を制定し、それを活用した日常の振り返りを各学年で取り組んでいることは、大変意義あることです。人との関わり方や係活動などにも、この意識が表れています。自立のために自律的な行動を意識することが、この目指す生徒像のねらいです。

2 読書は好きだ

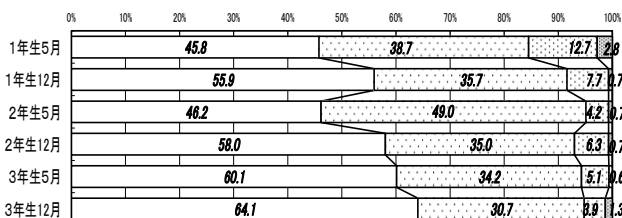


3 新聞を読んでいる

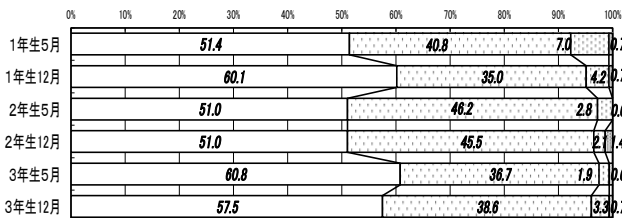


読書好きが増えています。「②どちらかと言えば」よりも「①当てはまる」が勢力を伸ばしています。朝の読書の時間も、毎日とてもよい時間が流れています。また、新聞を読む生徒も徐々に増えています。1月からは、各学級に一般紙が届けられています。毎週月曜日の中高生新聞の講読も定着しており、一般紙については毎朝の短学活等での活用が期待されています。

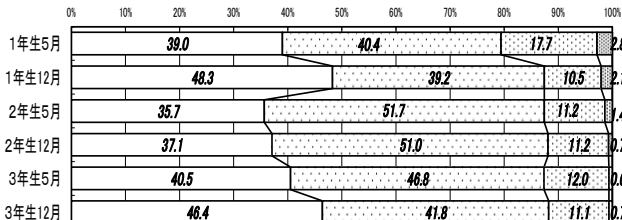
4 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている



5 授業で、課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいる



6 授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、話の組み立てなどを工夫して発表している



学習活動に主体的に取り組んでいる生徒の姿も認められます。全学年共に「①当てはまる」が増加しており、②を合わせると9割以上の生徒が好ましい学習を進めていることがわかります。こうした成果が、県学習状況調査の教科の結果に反映しているものと思われます。

■タイ王国ノンタブリー県からの留学生が訪問



1月28日(木)、本校が交流しているタイ王国からの留学生(県立秋田南高等学校)C.(愛称:ドリーム)さんが、訪問してくださいました。文部科学省の交流事業で昨年11月から3月までの滞在だそうです。タイのサトリーノンタブリー高校では日本語を勉強しており、流暢な日本語を話しながら本校の交流の様子を見て楽しんでくれました。